



～今号の内容～  
・研究所ピックアップ

## 研究所ピックアップ

### 【飛騨牛研究部】「肥育牛におけるメタン排出量の測定を行っています」

当研究部では共同研究により肥育試験牛12頭を対象にスニファー法で二酸化炭素とメタンの比からメタン排出量を測定しています。

スニファー法とは、えさ場に設置したチューブから呼気の一部を吸入して測定する方法であり(写真)、箱型の部屋に牛を入れてメタンを測定する従来のチャンバー法より簡易にメタンの測定を行うことが可能です。試験では、先行研究で脂肪酸カルシウムの添加によりメタン排出量の減少が報告されていることから、同一牛に対して脂肪酸カルシウムを添加して添加前(対照区)と添加後(試験区)にスニファー法によりメタン排出量の測定を行い測定の有効性を確認しています。



スニファー法によるメタン測定の様子

### 【養豚・養鶏研究部】「県政記者クラブとの勉強会で研究成果を発表」

令和7年2月18日(火)に県庁1308会議室において「豚の細菌感染に対する抵抗性および感受性の判別方法」の発表を行いました。

岐阜県畜産研究所養豚・養鶏研究部では、県の種豚「ボーノブラウン」へ細菌感染に対する抵抗性を付与するための判別技術を、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構等と共同で開発しました。

当日は熱心な質疑応答が行われ、新聞記事として掲載されました。これからも養豚生産現場に役立つ試験研究を行っていきます。



研究成果発表会の様子

## 【酪農研究部】「岐阜県自給飼料共励会褒賞贈呈式が開催されました」

令和7年2月28日(金)に岐阜県福祉農業会館で一般社団法人岐阜県畜産協会の主催により開催されました。受賞おめでとうございます！



褒賞贈呈式の様子



総合優等賞1席 優良事例発表の様子

今回のピックでは酪農研究部が自給飼料共励会において担当している業務を一部、ご紹介します。

### ① 坪刈り調査

現地農林事務所の協力を得て、審査委員である当部の研究員が現地に行き、発育状況を調査します。現地で採材したサンプルで水分を測定します。その水分値により収量が算出され、採点しています。



坪刈り調査の様子



成分分析の様子

### ② 第3部(調製品の部)審査および成分分析

調製品であるサイレージを各農林事務所が酪農研究部に持ち込み、その品質(香味・色沢・触感・雑草の混入等)を審査します。採材したサンプルは一般成分等の分析を行っています。

飼料価格が高騰する中、今後も自給飼料共励会を通じて良質な自給飼料生産を支援していきたいと思います。

## 岐阜県畜産研究所

ホームページ<http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>

### □ 飛騨牛研究部

〒506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1 Tel:0577-68-2226 Fax:0577-68-2227

### □ 酪農研究部

〒509-7601 恵那市山岡町久保原 1975-615 Tel:0573-56-2769 Fax:0573-56-2974

### □ 養豚・養鶏研究部

〒501-3924 関市迫間 2672-1 Tel:0575-22-3165 Fax:0575-22-3164